

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センタージャンプ（保育所等訪問支援）		
○訪問先評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月8日
○訪問先評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先からの信頼度が高い	<p>保育所等訪問利用者の多くは児発を利用している為、日々の職員との信頼関係が築けている。その為、園側も前向きに受け入れていただき、保育士、園児にとって良い方向に進めることができている。</p> <p>現場経験のある職員が訪問している為、現場で実践できる支援の助言、提案ができている。</p> <p>また、保育士と一緒に情報共有をしたり支援内容について話し合うことができている。</p>	<p>保育所等訪問支援を継続していく為の体制整備が必要である。</p> <p>保育所等訪問支援について周知するとともに、保護者の意向を確認したうえで対応できるような体制を整える必要がある。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発との連携、情報共有が不十分	<p>保育所等訪問先の園やサービスを利用する保護者からは高評価をいただいているが、療育先と訪問職員とで情報共有する場や連携が不十分である。</p>	<p>定期的な会議を開催し、情報共有や課題等の共有を行う。児発職員が園での様子を知ること、課題の把握や支援の方向性を考えることに繋がる。</p>
2	訪問する職員のスキルアップ	<p>現在保育所等訪問は一人に対応している。その為、支援方法等について振り返ったり、助言をいただける場がない。</p>	<p>外部評価を導入することで、業務改善や支援の質の向上に繋がる。</p> <p>また、保育所等訪問向けの研修の周知を行い積極的に参加できるような体制を整える。</p>